

患者調査の方法の検討

—総患者数の推計方法に関する課題の検討と提言—

研究代表者 橋本 修二 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授
研究協力者 川戸 美由紀 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
三重野牧子 自治医科大学情報センター医学情報学准教授
山田 宏哉 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座助教

研究要旨 患者調査における総患者数の推計方法について、課題の整理と解析を行い、必要に応じて提言をまとめることを目的とした。2年計画の最終年度として、昨年度に実施した課題の整理等の結果を踏まえ、1996～2014年の患者調査データを利用して解析・検討した。総患者数の推計方法の主な課題の中で、総患者数の推計モデルと推計式について、先行研究を参照して現行の方法の妥当性を確認した。新来患者数の課題については、患者調査データを利用して、総患者数の推計への影響がきわめて小さいことを確認した。平均診療間隔の課題について、その算定対象の診療間隔を30日以下（現行の方法）から13週以下（91日以下）に変更した場合、総患者数計算値は2014年で1.65倍前後（疾患で異なる）と試算された。主な課題のすべての検討結果を総括し、患者調査に対して、総患者数の推計方法に関する4項目を提言した。すなわち、『(1) 傷病状況の指標としての重要性から、患者調査では引き続き、総患者数を推計する。(2) 総患者数の推計では、平均診療間隔の算定対象を30日以下から13週以下（91日以下）の診療間隔に変更する。(3) 今後の患者調査では、できるだけ早く、総患者数の推計を(2)の新しい方法に変更する。(4) 傷病状況の推移観察の検討を可能とするため、平成8年以降の総患者数を新しい方法で傷病別に推計する。』であった。

A. 研究目的

厚生労働省の患者調査は最も主要な傷病統計であり、受療率や総患者数などが表章されている。患者調査を方法面からみると、一日患者数の推計方法や主傷病の取り扱い方法には特別な課題が見当たらないが、総患者数の推計方法や副傷病の取り扱い方法には重要な検討課題があると考えられる。

総患者数の推計方法は1990年頃の受療状況に基づいて開発され、現在まで使用されている。近年の高齢化や医療政策等の進展による受療状況の変化に対応するために、その推計方法には大幅な見直しが必要かもしれない。たとえば、総患者数の推計で用いる外来患者の平均診療間隔は当時の薬剤の基本投与期間14日以内等を

考慮して、前回診療から31日以上再診患者を除くという条件をおいているが、現在の薬剤投与期間からこの条件の適切性には疑問がある。

本研究の目的としては、総患者数の推計方法について、現在の受療状況を考慮しつつ、課題の整理と解析を通して見直しを行い、必要に応じて患者調査への提言をまとめることである。

昨年度は2年計画の初年度として、総患者数の推計方法に関する課題の整理と解析の一部を実施した。主な課題としては、総患者数の推計モデルと推計式、複数医療施設の受診に伴う過大推計、新来患者数、週間診療日数の調整係数、および、平均診療間隔と整理された。

本年度は最終年度として、昨年度の検討結果を踏まえ、1996～2014年患者調査を利用し、

総患者数の推計方法に関する課題の解析と検討を行った。主な課題の中で、総患者数の推計モデルと推計式、新来患者数、および、平均診療間隔を取り上げた（残りの複数医療施設の受診に伴う過大推計、週間診療日数の調整係数は別の研究報告書で検討）。主な課題の検討結果を総括し、患者調査に対する総患者数の推計方法に関する提言をまとめた。

B. 研究方法

基礎資料として、1996・1999・2002・2005・2008・2011・2014年の患者調査を統計法第33条による調査票情報の提供（厚生労働省発統0829第1号、平成28年8月29日）を受けて利用した。

総患者数の推計方法の主な課題として、総患者数の推計モデルと推計式については、先行研究の「橋本修二，中村好一，小池創一ほか．厚生省患者調査に基づく総患者数の推計方法に関する検討．厚生指標，1994;41(6):3-12」を参照して確認した。

新来患者数の課題については、2014年の患者調査を利用して、新来患者数、再来患者数と総患者数の間で傷病大分類別の構成割合を比較するとともに、傷病大分類別の（新来患者数）／（総患者数）の割合を算定した。

平均診療間隔の課題については、その算定方法として、現行の方法から、算定対象の診療間隔を変更したものを検討した。平均診療間隔の算定対象としては、診療間隔1～30日（現行の方法）とともに、1～60日、1～90日、1～91日（13週）、1～120日を用いた。年次ごとに傷病大分類別の総患者数を計算し、平均診療間隔の算定対象による総患者数の計算値の変化を検討した。

昨年度と本年度のすべての検討結果を総括して、患者調査に対する総患者数の推計方法に関する提言をまとめた。

（倫理面への配慮）

本研究では、連結不可能匿名化された既存の

統計資料のみを用いるため、個人情報保護に係る問題は生じない。

C. 研究結果

表1に、昨年度の検討結果から、総患者数の推計方法の主な課題を示す。

1. 総患者数の推計モデルと推計式の課題

表2に、総患者数の推計モデルと推計式の概要を示す。総患者数とは「調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設を受療していない者を含む）の数」と規定される。総患者数の推計モデルは患者調査の調査方法に沿ったものである。この推計モデルの下で、総患者数の推計式として、現行の方法が自然に導出された。これは、入院患者数、新来患者数と再来患者数（いずれも患者調査から直接に得られる）および平均診療間隔と週間診療日数の調整係数からなっていた。

2. 新来患者数の課題

新来患者数の課題とは、総患者数の推計式で1回患者数（その日だけ医療機関を受診し、継続受診しない患者数）の代用として、新来患者数（その後に継続受診する者を含む）を用いることを指す。

表3-1と表3-2に、2014年における傷病大分類別の新来患者数、再来患者数と総患者数を示す。新来患者数では、「呼吸器系の疾患」（「急性上気道感染症」など）、「健常状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」（「その他の保健サービス」など）の割合が大きく、一方、再来患者数では「循環器系の疾患」（「高血圧性疾患」など）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（「脊柱障害」など）が多かった。傷病大分類別の（新来患者数）／（総患者数）の割合は、いくつかの疾患を除いて、0～5%であった。

3. 平均診療間隔の課題

表4-1-1・2～表4-7-1・2にそれぞれ、1996

・1999・2002・2005・2008・2011・2014年の傷病大分類別における平均診療間隔の算定対象別、総患者数計算値を示す。2014年の全傷病の結果をみると（全傷病は本来の総患者数推計の対象でない）（表4-7-1）、推計患者数8,557千人に対して、総患者数は59,152千人と6.9倍であった。平均診療間隔の算定対象が30日以下の診療間隔による総患者数（現行の方法）に対する、平均診療間隔の算定対象が13週以下（91日以下）の診療間隔による総患者数計算値の比は1.65倍であった。

図1に、1996～2014年における平均診療間隔の算定対象別、総患者数計算値の比を示す。平均診療間隔の算定対象が30日以下の診療間隔による総患者数（現行の方法）に対する、平均診療間隔の算定対象が13週以下（91日以下）の診療間隔による総患者数計算値の比は年次とともに上昇した。1996年で1.26倍、1999年で1.31倍、2002年で1.37倍、2005年で1.48倍、2008年で1.57倍、2011年で1.62倍、2014年で1.65倍であった。

2014年の傷病大分類別の結果をみると（表4-7-1・2）、平均診療間隔の算定対象が30日以下の診療間隔による総患者数（現行の方法）に対する、平均診療間隔の算定対象が13週以下（91日以下）の診療間隔による総患者数計算値の比は、「悪性新生物」2.01倍、「甲状腺障害」2.18倍、「白内障」2.34倍、「先天奇形、変形及び染色体異常」2.06倍などが比較的大きく、一方、「精神及び行動の障害」1.35倍、「妊娠、分娩及び産じょく」1.11倍、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」1.41倍などが比較的小さかった。このような傷病大分類による総患者数計算値の比の大小関係は、1996～2011年の各年次とも2014年と同様の傾向であった（表4-1-1・2～表4-6-1・2）。

4. 総患者数の推計方法に関する提言

表5に、患者調査に対する総患者数の推計方法に関する提言を示す。提言としては、4項目からなった。「(1) 傷病状況の指標としての重

要性から、患者調査では引き続き、総患者数を推計する。」「(2) 総患者数の推計では、平均診療間隔の算定対象を30日以下から13週以下（91日以下）の診療間隔に変更する。」「(3) 今後の患者調査では、できるだけ早く、総患者数の推計を(2)の新しい方法に変更する。」「(4) 傷病状況の推移観察の検討を可能とするため、平成8年以降の総患者数を新しい方法で傷病別に推計する。」であった。提言の主な理由を表5に示した。

D. 考察

総患者数の推計方法の主な課題としては、「①総患者数の推計モデルと推計式」、「②複数医療施設の受診に伴う過大推計」、「③新来患者数」、「④週間診療日数の調整係数」、および、「⑤平均診療間隔」であった。これは、先行研究の「橋本修二，中村好一，小池創一ほか．厚生省患者調査に基づく総患者数の推計方法に関する検討．厚生の指標，1994;41(6):3-12」で指摘されたものと同様であった。それ以外の課題としては、副傷病の扱い、推計値の精度、他の資料との整合性などが考えられる。これらは総患者数の推計方法自体というよりも、関連する課題と位置づけられる。

以下、総患者数の推計方法の主な課題について、議論しよう。まず、「①総患者数の推計モデルと推計式」については、先行研究の結果を点検し、その妥当性を確認した。「②複数医療施設の受診に伴う過大推計」について、その程度は先行研究では1991年頃の高齢者の受診状況に基づく検討結果から、全傷病で大きいこと、および、傷病別には大きくないことが報告されている。このような傾向は現在でも同様と思われるが、受療状況が当時と大きく異なることから、最近の状況を確認することが重要であろう（この検討結果は別の研究報告書を参照）。

「③新来患者数」について、推計モデルでは新来患者数は1回患者数（受診が1回のみで継続しない患者数）の代用である。この代用による推計結果への影響について、最新の2014年

の患者調査を利用して検討した。(新来患者数) / (総患者数) の比はいくつかの疾患を除いて、0~5%であった。また、この比が5%以上の疾患としては、急性上気道感染症、保健サービス(健康診断)などであり、新来患者数の中で1回患者数が多いと考えられる。したがって、新来患者数への代用に伴う総患者数の過大評価はきわめて小さいことが確認された。

「④週間診療日数の調整係数」については、先行研究では、1990年の診療状況に基づいて6/7と定められた。最近の診療状況としては、以前よりも土曜日の診療が相対的に多くなったものの、日曜日と祝祭日の診療はきわめて限られたままである。そのため、週間診療日数の調整係数はそれほど変更しなくともよいように思われるが、最近の状況を確認することが重要であろう(この検討結果は別の研究報告書を参照)。

最後に「⑤平均診療間隔」を議論する。たとえば、前回診療日が1年以上前の場合、通院継続中よりも、新来とみなす方が自然であり、平均診療間隔の算定からの除外が適切と考える。これを「長い診療間隔」と呼ぶ。「長い診療間隔」については、どの程度までの診療間隔の患者を通院継続中の患者とみるか、という問題である。「長い診療間隔」は本来、患者の特性で異なり、一律に定められるような性格のものでもないといえるが、一方、それを定めることによって、患者調査から総患者数という有用な患者数の指標が得られることになる。

先行研究では、患者調査による1990年の診療間隔に基づく結果、および、当時の薬剤投与期間の原則14日以内等が考慮され、「長い診療間隔」が30日と定められた。一方、最近の診療間隔や医療の状況は当時と大きく異なり、薬剤投与期間の制限がなく、また、長期の処方が多くなっている。たとえば、表6-1に「調剤医療費の動向調査」による処方せん1枚当たり投与日数を示す。処方せん1枚当たりの投与日数は平成17年度の16.7日から年々延長し、平成26年度では22.3日(平成17年度の1.3倍)

であった。したがって、「長い診療間隔」として、現行の30日は適切でなく、大幅に伸ばす必要がある。

診療間隔は週単位が基本であり、実際、患者調査の診療間隔分布では7日ごとにピークがみられる。そのため、「長い診療間隔」は日ではなく、週で規定する方が合理的であろう。2014年の患者調査の診療間隔分布の詳細にみると(別の研究報告書を参照)、4週、8週、12週と13週にピークがあり、14週以降の割合は小さい。なお、13週は90日を含む週である。また、表6-2の「日本医師会総合政策研究機構、長期処方についてのアンケート調査報告-6 道県におけるパイロットスタディー、日医総研ワーキングペーパー、2010」による医師の処方期間分布をみると、同様に、4週、8週、12週と13週にピークがあり、また、14週以降の割合は小さい。以上の結果から総合的にみて、「長い診療間隔」は13週(91日)を超える診療間隔とするのが適切と考えられる。すなわち、総患者数の推計において、平均診療間隔は診療間隔が13週以下(91日以下)を対象として算定するのが適切である。

以上の検討結果と考察を総括することによって、患者調査に対する総患者数の推計方法に関する提言として、総患者数推計の継続、現行の方法から新しい方法への変更(平均診療間隔の算定対象を30日以下から13週以下(91日以下)へ変更)、新しい方法の早期適用、新しい方法による過去の総患者数の算定の4項目にまとめた。

E. 結論

総患者数の推計方法に関する4項目を提言した。すなわち、『(1) 傷病状況の指標としての重要性から、患者調査では引き続き、総患者数を推計する。(2) 総患者数の推計では、平均診療間隔の算定対象を30日以下から13週以下(91日以下)の診療間隔に変更する。(3) 今後の患者調査では、できるだけ早く、総患者数の推計を(2)の新しい方法に変更する。(4) 傷

病状況の推移観察の検討を可能とするため、平成8年以降の総患者数を新しい方法で傷病別に推計する。』であった。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし。

2. 学会発表

- 1) 橋本修二, 川戸美由紀, 山田宏哉, 三重野牧子, 野田龍也, 今村知明, 谷原真一, 村上義孝. 患者調査の検討 第1報 総患者数の推計方法の課題. 日本公衆衛生学会, 2016.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

図 1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比：全傷病、1996～2014年

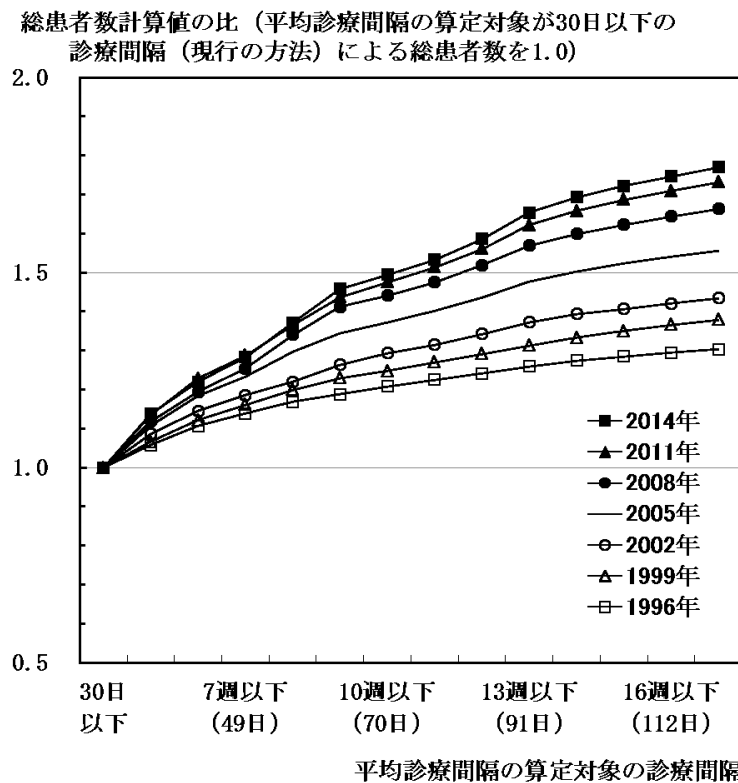


表 1. 総患者数の推計方法の主な課題

総患者数の推計モデルと推計式：

総患者数とは「調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設を受療していない者を含む）の数」と規定される。総患者数の推計値は、一定の推計モデルの下で、下記の推計式で与えられる。ここで、入院患者数、新来患者数、再来患者数は患者調査から直接に得られる。

$$(\text{総患者数}) = (\text{入院患者数}) + (\text{新来患者数}) + (\text{通院継続中患者数})$$

$$(\text{通院継続中患者数}) = (\text{再来患者数}) \times (\text{平均診療間隔}) \times (\text{週間診療日数の調整係数})$$

複数医療施設の受診に伴う過大推計：

総患者数の推計モデルでは、「通院継続中患者が複数の医療施設（あるいは複数の診療科）を受診しない」を前提とする。この前提が大きく崩れると、総患者数を過大推計することになる。

新来患者数：

総患者数の推計式では、1回患者数（その日だけ医療機関を受診し、継続受診しない患者数）の代用として、新来患者数（その後に継続受診する者を含む）を用いる。それに伴って、総患者数を過大推計することになる。

平均診療間隔：

平均診療間隔とは、再来患者の前回診療日から調査日までの間隔の平均をいう。その際、極端に長い診療間隔（継続的に医療を受けていない）の患者を除くため、平均診療間隔の算定対象を定めることになる（たとえば、30日以下など）。

週間診療日数の調整係数：

週間診療日数の調整係数とは、患者調査の調査日の再来患者数を1週間（土日を含む）の平均再来患者数に一致させるための補正をいう。その調整係数を定めることになる（たとえば、6/7など）。

表 2. 総患者数の推計モデルと推計式の概要

患者調査における総患者数の推計モデルと推計式について、概要を示す。

推計対象を厳密に言えば、患者調査の調査日における「患者数」である。「患者数」は、その日の「入院患者数」、その日だけ医療機関を受診し、継続受診しない患者数（「1回患者数」と呼ぶ）、および、「通院継続中患者数」（その日に医療機関を受診しない者を含む）の和で与えられる。「入院患者数」は患者調査から直接得られる。「1回患者数」は患者調査から得られる新来患者数（通院継続を開始する者を含む）で代用する。

「通院継続中患者数」は再来患者から推計する。推計モデルの枠組みとして、調査日の前後ある程度の期間では「通院継続中患者数」に定常状態、すなわち、通院継続の開始と中止の患者数が同じと考え、その出入りを無視する。「通院継続中患者数」に急激な増加や減少がない限り、この想定にはとくに問題がない。いま、「通院継続中患者が複数の医療機関（あるいは複数の診療科）を受診しない」という前提を設定する（この前提の妥当性は別の課題として議論する）。この前提の下で、診療間隔 j 日の「通院継続中患者数」を n_j とおき、「通院継続中患者数」の全体を n とおくと、 $n = \sum n_j$ となる。この n が推計対象のパラメータである。ここで、 Σ は 1 以上の j で和をとることを表す（以下、同様）。

診療間隔 j 日の i 番目 ($i=1, \dots, n_j$) の通院継続中患者における調査日の受診の有無を、次の X_{ij} で表す。 $X_{ij}=0$ （調査日に未受診）、 $X_{ij}=1$ （調査日に受診）。ここで、かりに「調査日をランダムに選定」を仮定すると、診療間隔 j 日であれば、 $\Pr\{X_{ij}=1\}=1/j$ 、 $\Pr\{X_{ij}=0\}=1-1/j$ となる。ここで、 $\Pr\{\}$ は確率を表す。 $X_j = \sum X_{ij}$ ($i=1, \dots, n_j$ の和) とおくと、 X_j は診療間隔 j 日の通院継続中患者の中で、調査日に医療機関を受診した患者数を意味する。患者調査で得られる前回診療年月日からの受診間隔が j 日の再来患者数は、この X_j とみなせる。 X_j の期待値が $E(X_j) = n_j/j$ となることから、「通院継続中患者数」の推計値 $n^{\wedge} = \sum j \cdot X_j$ で与えられる。ここで、再来患者の合計 $X = \sum X_j$ とおき、平均診療間隔の推定値 $m^{\wedge} = (\sum j \cdot X_j) / X$ で定義とすると、 $n^{\wedge} = m^{\wedge} \cdot X$ と書ける。すなわち、「通院継続中患者数」の推計値は平均診療間隔と再来患者数の積で与えられる。

「調査日をランダムに選定」という仮定は実際には成り立たない。患者調査の調査日は平日であり、土曜や日曜を含めた 1 週間の中からランダムに選んでいない。その補正として、たとえば、診療が 1 週間の内、日曜を除く 6 日間で実施されると考えて $6/7$ などの係数（「週間診療日数の調整係数」と呼び、別の課題として議論する）を乗ずることが考えられる。この補正を行うと、「通院継続中患者数」の推計式は以下ようになる。

「通院継続中患者数」の推計値 = (週間診療日数の調整係数) × (平均診療間隔) × (再来患者数)

以上、先の前提の吟味や推計モデル上の課題の検討があるものの、それらを除けば、ここで与えた総患者数の推計モデルは自然なものである。この推計モデルの下で、総患者数は、下記の推計式で与えられる。

総患者数 = (入院患者数) + (新来患者数) + (週間診療日数の調整係数) × (平均診療間隔) × (再来患者数)

なお、これは、患者調査で用いられている推計式に他ならない。

引用文献：「橋本修二，中村好一，小池創一ほか．厚生省患者調査に基づく総患者数の推計方法に関する検討．厚生指標，1994;41(6):3-12」

表 3-1. 新来患者数、再来患者数、総患者数：2014 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	新来患者数:千人 (%)	再来患者数:千人 (%)	総患者数:千人 (%)	新来患者数 ／総患者数 (%)
全傷病 [#]	1,369.3 (100.0)	5,869.0 (100.0)	59,152 (100.0)	2.3
I 感染症及び寄生虫症	48.4 (3.5)	124.9 (2.1)	1,168 (2.0)	4.1
腸管感染症	19.2 (1.4)	10.9 (0.2)	91 (0.2)	21.1
結核	0.3 (0.0)	1.5 (0.0)	20 (0.0)	1.4
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	13.8 (1.0)	44.2 (0.8)	412 (0.7)	3.3
真菌症	8.5 (0.6)	26.1 (0.4)	337 (0.6)	2.5
その他の感染症及び寄生虫症	6.6 (0.5)	42.2 (0.7)	327 (0.6)	2.0
II 新生物	31.5 (2.3)	200.1 (3.4)	2,100 (3.5)	1.5
(悪性新生物) (再掲)	15.9 (1.2)	155.5 (2.6)	1,626 (2.7)	1.0
胃の悪性新生物	2.0 (0.1)	17.2 (0.3)	185 (0.3)	1.1
結腸及び直腸の悪性新生物	3.3 (0.2)	24.7 (0.4)	261 (0.4)	1.3
気管, 気管支及び肺の悪性新生物	2.0 (0.1)	14.1 (0.2)	146 (0.2)	1.3
その他の悪性新生物	8.7 (0.6)	99.4 (1.7)	1,034 (1.7)	0.8
良性新生物及びその他の新生物	15.6 (1.1)	44.6 (0.8)	474 (0.8)	3.3
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	2.5 (0.2)	19.1 (0.3)	209 (0.4)	1.2
貧血	1.8 (0.1)	13.5 (0.2)	142 (0.2)	1.2
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	0.7 (0.1)	5.5 (0.1)	68 (0.1)	1.1
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	20.8 (1.5)	416.1 (7.1)	6,069 (10.3)	0.3
甲状腺障害	4.8 (0.3)	34.3 (0.6)	442 (0.7)	1.1
糖尿病	6.8 (0.5)	215.5 (3.7)	3,166 (5.4)	0.2
その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	9.3 (0.7)	166.4 (2.8)	2,449 (4.1)	0.4
V 精神及び行動の障害	14.6 (1.1)	243.1 (4.1)	3,175 (5.4)	0.5
統合失調症, 統合失調症型障害 及び妄想性障害	1.7 (0.1)	67.9 (1.2)	773 (1.3)	0.2
気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)	4.1 (0.3)	79.3 (1.4)	1,116 (1.9)	0.4
神経症性障害, ストレス関連障害 及び身体表現性障害	5.1 (0.4)	48.3 (0.8)	724 (1.2)	0.7
その他の精神及び行動の障害	3.7 (0.3)	47.6 (0.8)	598 (1.0)	0.6
VI 神経系の疾患	14.9 (1.1)	158.1 (2.7)	2,014 (3.4)	0.7
VII 眼及び付属器の疾患	70.2 (5.1)	267.7 (4.6)	3,660 (6.2)	1.9
白内障	10.9 (0.8)	66.7 (1.1)	856 (1.4)	1.3
その他の眼及び付属器の疾患	59.2 (4.3)	201.0 (3.4)	2,811 (4.8)	2.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	27.8 (2.0)	72.7 (1.2)	583 (1.0)	4.8
外耳疾患	11.0 (0.8)	9.7 (0.2)	79 (0.1)	13.9
中耳炎	7.0 (0.5)	33.4 (0.6)	219 (0.4)	3.2
その他の中耳及び乳様突起の疾患	1.1 (0.1)	5.0 (0.1)	37 (0.1)	3.0
内耳疾患	2.7 (0.2)	10.4 (0.2)	107 (0.2)	2.5
その他の耳疾患	5.9 (0.4)	14.3 (0.2)	149 (0.3)	4.0
IX 循環器系の疾患	35.3 (2.6)	897.7 (15.3)	13,344 (22.6)	0.3
高血圧性疾患	12.8 (0.9)	658.6 (11.2)	10,108 (17.1)	0.1
(心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲))	9.0 (0.7)	124.9 (2.1)	1,729 (2.9)	0.5
虚血性心疾患	3.6 (0.3)	56.1 (1.0)	779 (1.3)	0.5
その他の心疾患	5.4 (0.4)	68.8 (1.2)	951 (1.6)	0.6
(脳血管疾患) (再掲)	7.0 (0.5)	87.0 (1.5)	1,179 (2.0)	0.6
脳梗塞	4.0 (0.3)	63.3 (1.1)	860 (1.5)	0.5
その他の脳血管疾患	2.9 (0.2)	23.7 (0.4)	318 (0.5)	0.9
その他の循環器系の疾患	6.6 (0.5)	27.1 (0.5)	319 (0.5)	2.1

[#]: 全傷病の総患者数は参考 (推計の対象外)。

表 3-2. 新来患者数、再来患者数、総患者数：2014 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	新来患者数:千人 (%)	再来患者数:千人 (%)	総患者数:千人 (%)	新来患者数 /総患者数 (%)
X 呼吸器系の疾患	265.6 (19.4)	402.8 (6.9)	3,850 (6.5)	6.9
急性上気道感染症	143.3 (10.5)	105.0 (1.8)	868 (1.5)	16.5
肺炎	2.0 (0.1)	6.2 (0.1)	69 (0.1)	2.8
急性気管支炎及び急性細気管支炎	57.1 (4.2)	44.3 (0.8)	340 (0.6)	16.8
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	5.8 (0.4)	25.7 (0.4)	299 (0.5)	1.9
喘息	22.2 (1.6)	105.4 (1.8)	1,177 (2.0)	1.9
その他の呼吸器系の疾患	35.3 (2.6)	116.1 (2.0)	1,146 (1.9)	3.1
X I 消化器系の疾患	263.9 (19.3)	1,046.1 (17.8)	9,500 (16.1)	2.8
う蝕	69.3 (5.1)	214.3 (3.7)	1,846 (3.1)	3.8
歯肉炎及び歯周疾患	108.4 (7.9)	336.3 (5.7)	3,315 (5.6)	3.3
その他の歯及び歯の支持組織の障害	38.2 (2.8)	260.4 (4.4)	1,842 (3.1)	2.1
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3.9 (0.3)	26.4 (0.4)	318 (0.5)	1.2
胃炎及び十二指腸炎	12.8 (0.9)	60.9 (1.0)	735 (1.2)	1.7
肝疾患	2.6 (0.2)	30.0 (0.5)	251 (0.4)	1.0
その他の消化器系の疾患	28.7 (2.1)	117.8 (2.0)	1,371 (2.3)	2.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	94.3 (6.9)	192.6 (3.3)	2,248 (3.8)	4.2
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	72.4 (5.3)	805.4 (13.7)	5,279 (8.9)	1.4
炎症性多発性関節障害	4.3 (0.3)	44.9 (0.8)	492 (0.8)	0.9
脊柱障害	34.3 (2.5)	420.4 (7.2)	2,360 (4.0)	1.5
骨の密度及び構造の障害	1.9 (0.1)	54.2 (0.9)	552 (0.9)	0.3
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	31.9 (2.3)	285.9 (4.9)	1,947 (3.3)	1.6
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	32.9 (2.4)	250.2 (4.3)	1,743 (2.9)	1.9
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	2.0 (0.1)	116.3 (2.0)	374 (0.6)	0.5
乳房及び女性生殖器の疾患	15.3 (1.1)	64.2 (1.1)	617 (1.0)	2.5
その他の腎尿路生殖器系の疾患	15.5 (1.1)	69.6 (1.2)	969 (1.6)	1.6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1.8 (0.1)	12.7 (0.2)	138 (0.2)	1.3
流産	0.4 (0.0)	1.5 (0.0)	11 (0.0)	3.3
妊娠高血圧症候群	0.0 (0.0)	0.2 (0.0)	2 (0.0)	0.7
単胎自然分娩	0.1 (0.0)	0.6 (0.0)	13 (0.0)	1.0
その他の妊娠、分娩及び産じょく	1.3 (0.1)	10.4 (0.2)	111 (0.2)	1.2
X VI 周産期に発生した病態	0.6 (0.0)	2.3 (0.0)	30 (0.1)	2.1
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	2.0 (0.1)	12.3 (0.2)	131 (0.2)	1.5
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	28.0 (2.0)	48.9 (0.8)	500 (0.8)	5.6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	58.8 (4.3)	247.6 (4.2)	1,325 (2.2)	4.4
骨折	9.8 (0.7)	82.2 (1.4)	580 (1.0)	1.7
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	49.0 (3.6)	165.5 (2.8)	748 (1.3)	6.6
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	283.0 (20.7)	448.7 (7.6)	4,278 (7.2)	6.6
正常妊娠・産じょくの管理	2.7 (0.2)	34.3 (0.6)	422 (0.7)	0.6
歯の補てつ	34.4 (2.5)	271.3 (4.6)	2,128 (3.6)	1.6
その他の保健サービス	245.9 (18.0)	143.1 (2.4)	1,857 (3.1)	13.2

表 4-1-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：1996 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [#]	8,810.3	50,900	1.18	1.25	1.26	1.30
I 感染症及び寄生虫症	247.7	1,221	1.23	1.34	1.35	1.43
腸管感染症	36.8	103	1.18	1.30	1.30	1.40
結核	18.8	91	1.13	1.22	1.24	1.32
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	39.1	185	1.14	1.24	1.24	1.27
真菌症	45.7	352	1.32	1.46	1.46	1.54
その他の感染症及び寄生虫症	107.5	504	1.19	1.29	1.30	1.40
II 新生物	361.1	1,924	1.17	1.28	1.31	1.39
(悪性新生物) (再掲)	261.4	1,363	1.15	1.24	1.27	1.34
胃の悪性新生物	53.0	305	1.13	1.20	1.22	1.25
結腸及び直腸の悪性新生物	42.0	256	1.12	1.19	1.21	1.23
気管、気管支及び肺の悪性新生物	26.1	90	1.15	1.23	1.27	1.36
その他の悪性新生物	140.3	713	1.17	1.28	1.31	1.42
良性新生物及びその他の新生物	99.7	560	1.24	1.38	1.41	1.52
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	40.9	308	1.21	1.31	1.32	1.40
貧血	32.4	239	1.20	1.29	1.30	1.35
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	8.5	71	1.23	1.35	1.38	1.56
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	388.9	3,732	1.19	1.25	1.26	1.30
甲状腺障害	30.4	332	1.31	1.48	1.55	1.68
糖尿病	237.4	2,175	1.17	1.22	1.23	1.26
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	121.1	1,229	1.18	1.24	1.24	1.28
V 精神及び行動の障害	481.5	1,886	1.11	1.16	1.16	1.19
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	264.3	721	1.08	1.10	1.10	1.13
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	60.3	433	1.11	1.16	1.16	1.20
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	50.5	466	1.17	1.24	1.24	1.26
その他の精神及び行動の障害	106.4	269	1.11	1.15	1.16	1.20
VI 神経系の疾患	186.7	1,159	1.22	1.29	1.30	1.35
VII 眼及び付属器の疾患	356.5	3,394	1.44	1.65	1.67	1.76
白内障	130.8	1,581	1.42	1.58	1.60	1.66
その他の眼及び付属器の疾患	225.7	1,824	1.44	1.69	1.72	1.83
VIII 耳及び乳様突起の疾患	141.5	594	1.16	1.24	1.25	1.30
外耳疾患	23.9	74	1.15	1.33	1.33	1.45
中耳炎	64.5	255	1.15	1.22	1.23	1.28
その他の中耳及び乳様突起の疾患	18.2	78	1.10	1.16	1.18	1.22
内耳疾患	15.8	82	1.18	1.25	1.25	1.28
その他の耳疾患	19.1	107	1.18	1.24	1.26	1.31
IX 循環器系の疾患	1,449.3	11,684	1.12	1.14	1.15	1.16
高血圧性疾患	739.4	7,492	1.11	1.13	1.13	1.14
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	250.2	2,039	1.13	1.17	1.17	1.20
虚血性心疾患	139.1	1,190	1.13	1.16	1.17	1.19
その他の心疾患	111.1	849	1.14	1.18	1.18	1.21
(脳血管疾患) (再掲)	389.8	1,729	1.11	1.14	1.14	1.15
脳梗塞	278.8	1,247	1.11	1.13	1.14	1.15
その他の脳血管疾患	111.0	482	1.12	1.15	1.15	1.17
その他の循環器系の疾患	69.9	422	1.21	1.29	1.30	1.34

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-1-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：1996 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	917.9	3,826	1.16	1.24	1.25	1.34
急性上気道感染症	347.5	967	1.15	1.25	1.26	1.40
肺炎	29.9	52	1.11	1.17	1.19	1.23
急性気管支炎及び急性細気管支炎	117.9	337	1.12	1.19	1.20	1.29
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	64.1	328	1.13	1.22	1.22	1.29
喘息	171.7	1,146	1.15	1.24	1.25	1.33
その他の呼吸器系の疾患	186.7	1,001	1.18	1.26	1.27	1.31
X I 消化器系の疾患	1,599.3	9,468	1.13	1.16	1.17	1.20
う蝕	314.4	1,694	1.07	1.07	1.09	1.10
歯肉炎及び歯周疾患	236.9	1,437	1.12	1.13	1.16	1.17
その他の歯及び歯の支持組織の障害	499.8	2,594	1.07	1.09	1.09	1.10
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	134.0	1,164	1.21	1.28	1.28	1.32
胃炎及び十二指腸炎	138.6	1,096	1.18	1.25	1.25	1.30
肝疾患	110.6	606	1.17	1.25	1.26	1.31
その他の消化器系の疾患	165.1	943	1.16	1.23	1.24	1.28
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	267.7	1,674	1.29	1.43	1.44	1.52
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,036.1	4,536	1.15	1.21	1.21	1.25
炎症性多発性関節障害	85.1	567	1.22	1.29	1.30	1.34
脊柱障害	540.3	2,034	1.13	1.18	1.18	1.21
骨の密度及び構造の障害	86.6	493	1.12	1.16	1.16	1.18
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	324.1	1,457	1.16	1.22	1.23	1.27
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	260.1	1,522	1.19	1.28	1.29	1.35
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	97.7	331	1.18	1.27	1.28	1.34
乳房及び女性生殖器の疾患	78.6	534	1.24	1.34	1.36	1.45
その他の腎尿路生殖器系の疾患	83.8	668	1.14	1.21	1.22	1.26
X V 妊娠、分娩及び産じょく	44.7	173	1.16	1.20	1.20	1.21
流産	3.2	12	1.42	1.51	1.51	1.55
妊娠高血圧症候群	1.8	7	1.17	1.17	1.17	1.24
単胎自然分娩	8.9	14	1.12	1.15	1.15	1.15
その他の妊娠、分娩及び産じょく	30.8	140	1.14	1.18	1.18	1.18
X VI 周産期に発生した病態	8.5	22	1.23	1.36	1.46	1.56
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	20.6	133	1.30	1.48	1.56	1.78
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	105.1	561	1.22	1.32	1.33	1.41
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	437.0	1,116	1.14	1.20	1.21	1.25
骨折	151.9	404	1.11	1.17	1.18	1.20
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	285.0	711	1.15	1.22	1.23	1.28
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	459.4	2,530	1.16	1.23	1.24	1.28
正常妊娠・産じょくの管理	48.4	496	1.15	1.19	1.19	1.20
歯の補てつ	254.1	1,467	1.06	1.08	1.08	1.08
その他の保健サービス	156.9	644	1.35	1.56	1.59	1.75

表 4-2-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：1999 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [#]	8,318.6	47,448	1.21	1.31	1.31	1.38
I 感染症及び寄生虫症	246.3	1,200	1.28	1.41	1.42	1.51
腸管感染症	35.2	108	1.20	1.33	1.39	1.57
結核	17.4	71	1.16	1.23	1.24	1.32
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	38.6	182	1.20	1.30	1.30	1.35
真菌症	48.1	385	1.39	1.57	1.57	1.68
その他の感染症及び寄生虫症	107.1	475	1.21	1.31	1.32	1.40
II 新生物	351.2	1,806	1.19	1.32	1.35	1.46
(悪性新生物) (再掲)	256.7	1,270	1.17	1.28	1.31	1.40
胃の悪性新生物	46.9	260	1.15	1.22	1.23	1.28
結腸及び直腸の悪性新生物	40.3	227	1.15	1.24	1.25	1.30
気管、気管支及び肺の悪性新生物	27.2	90	1.15	1.30	1.31	1.46
その他の悪性新生物	142.4	693	1.19	1.31	1.36	1.48
良性新生物及びその他の新生物	94.5	535	1.25	1.41	1.44	1.59
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	34.6	252	1.23	1.33	1.34	1.40
貧血	26.4	188	1.21	1.29	1.30	1.36
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	8.2	65	1.25	1.43	1.44	1.50
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	391.5	3,872	1.22	1.31	1.32	1.38
甲状腺障害	32.0	353	1.36	1.66	1.78	2.08
糖尿病	226.0	2,115	1.21	1.27	1.28	1.31
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	133.6	1,409	1.21	1.28	1.28	1.32
V 精神及び行動の障害	490.0	1,818	1.14	1.18	1.18	1.21
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	260.1	666	1.10	1.13	1.13	1.15
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	64.0	441	1.13	1.18	1.18	1.21
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	45.8	424	1.20	1.25	1.26	1.29
その他の精神及び行動の障害	120.0	294	1.11	1.15	1.15	1.19
VI 神経系の疾患	184.4	1,058	1.24	1.35	1.35	1.41
VII 眼及び付属器の疾患	356.0	3,275	1.49	1.74	1.76	1.90
白内障	133.9	1,457	1.50	1.70	1.72	1.82
その他の眼及び付属器の疾患	222.2	1,822	1.48	1.77	1.79	1.97
VIII 耳及び乳様突起の疾患	139.3	636	1.15	1.22	1.23	1.31
外耳疾患	24.1	79	1.24	1.42	1.43	1.62
中耳炎	64.6	281	1.14	1.21	1.21	1.26
その他の中耳及び乳様突起の疾患	16.9	76	1.12	1.18	1.19	1.33
内耳疾患	14.4	78	1.13	1.16	1.16	1.21
その他の耳疾患	19.3	123	1.13	1.19	1.19	1.25
IX 循環器系の疾患	1,327.6	10,867	1.13	1.16	1.16	1.18
高血圧性疾患	672.6	7,186	1.12	1.14	1.14	1.15
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	228.7	1,845	1.15	1.18	1.19	1.21
虚血性心疾患	123.8	1,067	1.15	1.18	1.18	1.19
その他の心疾患	104.9	778	1.15	1.19	1.20	1.23
(脳血管疾患) (再掲)	364.9	1,474	1.14	1.17	1.17	1.19
脳梗塞	269.3	1,119	1.14	1.17	1.17	1.19
その他の脳血管疾患	95.5	355	1.14	1.17	1.18	1.20
その他の循環器系の疾患	61.5	359	1.24	1.32	1.32	1.38

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-2-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：1999 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	893.6	3,935	1.20	1.36	1.37	1.52
急性上気道感染症	342.6	1,122	1.21	1.46	1.47	1.72
肺炎	30.7	49	1.14	1.20	1.20	1.24
急性気管支炎及び急性細気管支炎	114.6	355	1.21	1.36	1.36	1.68
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	54.2	300	1.17	1.25	1.26	1.36
喘息	167.4	1,096	1.22	1.35	1.35	1.44
その他の呼吸器系の疾患	184.1	1,007	1.19	1.30	1.30	1.38
X I 消化器系の疾患	1,374.3	7,795	1.15	1.20	1.21	1.26
う蝕	295.3	1,559	1.11	1.15	1.16	1.20
歯肉炎及び歯周疾患	230.4	1,262	1.12	1.18	1.19	1.27
その他の歯及び歯の支持組織の障害	396.0	1,922	1.06	1.08	1.08	1.13
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	105.1	965	1.23	1.31	1.32	1.36
胃炎及び十二指腸炎	105.8	864	1.19	1.26	1.26	1.33
肝疾患	89.5	459	1.22	1.29	1.30	1.36
その他の消化器系の疾患	152.2	830	1.20	1.27	1.27	1.32
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	286.7	1,803	1.33	1.51	1.52	1.61
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	962.4	4,096	1.19	1.26	1.27	1.31
炎症性多発性関節障害	76.7	527	1.26	1.33	1.34	1.40
脊柱障害	507.4	1,850	1.16	1.22	1.22	1.27
骨の密度及び構造の障害	66.6	405	1.18	1.23	1.24	1.27
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	311.7	1,333	1.20	1.28	1.28	1.34
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	248.7	1,431	1.22	1.32	1.32	1.39
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	102.1	323	1.21	1.29	1.30	1.35
乳房及び女性生殖器の疾患	69.5	502	1.24	1.36	1.36	1.45
その他の腎尿路生殖器系の疾患	77.2	635	1.18	1.25	1.26	1.32
X V 妊娠、分娩及び産じょく	43.8	179	1.11	1.13	1.14	1.17
流産	3.2	12	1.22	1.28	1.28	1.33
妊娠高血圧症候群	1.4	5	1.19	1.29	1.29	1.29
単胎自然分娩	7.6	10	1.14	1.17	1.17	1.17
その他の妊娠、分娩及び産じょく	31.6	152	1.10	1.12	1.12	1.16
X VI 周産期に発生した病態	8.5	26	1.25	1.51	1.56	1.79
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	18.7	111	1.37	1.62	1.65	1.90
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	92.8	454	1.22	1.35	1.36	1.46
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	443.5	1,108	1.15	1.21	1.22	1.26
骨折	160.5	409	1.14	1.20	1.21	1.25
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	283.0	699	1.15	1.22	1.22	1.27
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	424.5	2,310	1.21	1.34	1.34	1.46
正常妊娠・産じょくの管理	41.2	400	1.13	1.15	1.15	1.17
歯の補てつ	222.4	1,206	1.10	1.16	1.16	1.28
その他の保健サービス	160.9	779	1.37	1.63	1.64	1.78

表 4-3-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2002 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [#]	7,929.0	46,767	1.23	1.36	1.37	1.44
I 感染症及び寄生虫症	250.7	1,259	1.27	1.42	1.44	1.51
腸管感染症	38.3	100	1.21	1.35	1.35	1.47
結核	12.4	47	1.18	1.34	1.36	1.42
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	36.2	184	1.18	1.27	1.27	1.31
真菌症	53.2	444	1.33	1.52	1.53	1.59
その他の感染症及び寄生虫症	110.5	504	1.24	1.36	1.38	1.47
II 新生物	346.5	1,764	1.23	1.43	1.48	1.59
(悪性新生物) (再掲)	259.1	1,280	1.21	1.40	1.44	1.54
胃の悪性新生物	40.1	222	1.22	1.35	1.39	1.46
結腸及び直腸の悪性新生物	39.1	221	1.18	1.35	1.37	1.46
気管、気管支及び肺の悪性新生物	29.1	99	1.21	1.38	1.42	1.51
その他の悪性新生物	150.8	738	1.22	1.43	1.48	1.59
良性新生物及びその他の新生物	87.4	484	1.29	1.51	1.57	1.73
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	32.8	238	1.28	1.45	1.47	1.54
貧血	25.8	184	1.26	1.41	1.42	1.49
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	6.9	56	1.31	1.52	1.57	1.69
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	402.0	4,285	1.24	1.35	1.37	1.41
甲状腺障害	28.3	323	1.32	1.62	1.73	1.87
糖尿病	219.9	2,284	1.24	1.32	1.33	1.37
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	153.8	1,680	1.24	1.33	1.34	1.38
V 精神及び行動の障害	529.1	2,277	1.14	1.20	1.20	1.23
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	259.7	734	1.10	1.12	1.12	1.13
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	91.3	711	1.15	1.20	1.21	1.23
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	53.1	500	1.19	1.29	1.30	1.35
その他の精神及び行動の障害	125.0	336	1.11	1.19	1.20	1.24
VI 神経系の疾患	203.5	1,191	1.25	1.39	1.41	1.47
VII 眼及び付属器の疾患	320.9	3,191	1.46	1.80	1.83	1.98
白内障	107.8	1,292	1.43	1.72	1.75	1.85
その他の眼及び付属器の疾患	213.1	1,900	1.47	1.84	1.88	2.06
VIII 耳及び乳様突起の疾患	105.0	502	1.20	1.31	1.33	1.40
外耳疾患	17.5	60	1.18	1.37	1.42	1.47
中耳炎	45.2	203	1.16	1.27	1.28	1.35
その他の中耳及び乳様突起の疾患	11.2	54	1.22	1.35	1.38	1.45
内耳疾患	14.7	81	1.21	1.29	1.30	1.36
その他の耳疾患	16.4	105	1.24	1.34	1.36	1.42
IX 循環器系の疾患	1,209.9	10,337	1.17	1.21	1.22	1.23
高血圧性疾患	607.5	6,985	1.16	1.19	1.20	1.21
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	200.2	1,667	1.21	1.28	1.28	1.31
虚血性心疾患	100.5	911	1.21	1.28	1.28	1.30
その他の心疾患	99.7	756	1.20	1.28	1.28	1.31
(脳血管疾患) (再掲)	350.1	1,374	1.16	1.20	1.21	1.23
脳梗塞	257.1	1,064	1.15	1.20	1.20	1.22
その他の脳血管疾患	93.1	310	1.17	1.23	1.24	1.28
その他の循環器系の疾患	52.0	316	1.25	1.37	1.38	1.44

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-3-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2002 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	789.9	3,403	1.22	1.37	1.38	1.48
急性上気道感染症	282.5	812	1.20	1.41	1.42	1.55
肺炎	35.4	59	1.11	1.20	1.20	1.24
急性気管支炎及び急性細気管支炎	120.5	339	1.12	1.26	1.27	1.39
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	45.5	271	1.19	1.30	1.30	1.38
喘息	152.8	1,069	1.26	1.42	1.43	1.52
その他の呼吸器系の疾患	153.2	869	1.22	1.34	1.35	1.42
X I 消化器系の疾患	1,286.9	7,542	1.18	1.28	1.29	1.35
う蝕	266.8	1,480	1.14	1.22	1.22	1.29
歯肉炎及び歯周疾患	266.7	1,647	1.19	1.37	1.37	1.47
その他の歯及び歯の支持組織の障害	354.7	1,758	1.09	1.14	1.16	1.19
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	85.0	782	1.27	1.38	1.38	1.43
胃炎及び十二指腸炎	87.9	704	1.17	1.30	1.30	1.34
肝疾患	69.5	350	1.23	1.34	1.36	1.43
その他の消化器系の疾患	156.2	891	1.23	1.34	1.35	1.40
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	229.0	1,481	1.36	1.56	1.56	1.69
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	953.6	4,245	1.19	1.28	1.29	1.33
炎症性多発性関節障害	68.6	499	1.26	1.37	1.38	1.40
脊柱障害	496.6	1,862	1.15	1.22	1.23	1.27
骨の密度及び構造の障害	65.6	452	1.20	1.27	1.28	1.31
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	322.8	1,459	1.19	1.30	1.31	1.36
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	269.7	1,532	1.28	1.41	1.43	1.51
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	115.8	342	1.23	1.34	1.35	1.39
乳房及び女性生殖器の疾患	75.2	533	1.28	1.42	1.44	1.56
その他の腎尿路生殖器系の疾患	78.7	708	1.24	1.36	1.37	1.43
X V 妊娠、分娩及び産じょく	42.1	158	1.09	1.14	1.14	1.16
流産	3.5	13	1.14	1.18	1.18	1.25
妊娠高血圧症候群	1.1	3	1.11	1.14	1.14	1.14
単胎自然分娩	10.4	17	1.03	1.05	1.05	1.05
その他の妊娠、分娩及び産じょく	27.1	126	1.09	1.15	1.15	1.17
X VI 周産期に発生した病態	8.5	24	1.30	1.51	1.59	1.80
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	16.1	102	1.36	1.66	1.71	1.90
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	87.2	436	1.28	1.46	1.48	1.57
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	400.9	1,020	1.16	1.26	1.27	1.32
骨折	155.5	406	1.13	1.21	1.22	1.26
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	245.4	613	1.19	1.29	1.31	1.36
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	444.7	2,635	1.19	1.32	1.32	1.39
正常妊娠・産じょくの管理	39.4	398	1.10	1.13	1.13	1.14
歯の補てつ	246.7	1,420	1.09	1.16	1.16	1.18
その他の保健サービス	158.5	924	1.38	1.66	1.68	1.84

表 4-4-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2005 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [※]	8,555.2	50,806	1.32	1.46	1.48	1.56
I 感染症及び寄生虫症	254.7	1,355	1.33	1.48	1.51	1.60
腸管感染症	38.0	108	1.18	1.34	1.35	1.52
結核	9.2	39	1.25	1.41	1.51	1.67
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	44.5	262	1.21	1.31	1.33	1.39
真菌症	51.6	460	1.38	1.55	1.57	1.64
その他の感染症及び寄生虫症	111.4	515	1.32	1.46	1.49	1.61
II 新生物	374.5	1,908	1.32	1.54	1.61	1.76
(悪性新生物) (再掲)	285.0	1,423	1.31	1.52	1.58	1.72
胃の悪性新生物	38.1	208	1.30	1.47	1.50	1.61
結腸及び直腸の悪性新生物	39.4	213	1.30	1.46	1.49	1.58
気管、気管支及び肺の悪性新生物	33.3	123	1.24	1.43	1.50	1.65
その他の悪性新生物	174.3	877	1.33	1.56	1.64	1.80
良性新生物及びその他の新生物	89.5	484	1.33	1.60	1.67	1.86
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	32.3	222	1.36	1.53	1.58	1.64
貧血	24.3	159	1.35	1.49	1.53	1.57
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	8.0	65	1.36	1.60	1.67	1.77
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	421.2	4,565	1.35	1.46	1.48	1.54
甲状腺障害	27.6	300	1.43	1.69	1.75	1.92
糖尿病	232.7	2,469	1.34	1.45	1.46	1.51
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	161.0	1,796	1.34	1.45	1.46	1.50
V 精神及び行動の障害	550.7	2,647	1.19	1.26	1.27	1.30
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	261.8	757	1.12	1.17	1.18	1.19
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	104.8	924	1.18	1.25	1.25	1.27
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	55.6	585	1.26	1.38	1.39	1.47
その他の精神及び行動の障害	128.4	394	1.18	1.25	1.26	1.30
VI 神経系の疾患	240.6	1,441	1.32	1.48	1.51	1.59
VII 眼及び付属器の疾患	346.4	3,234	1.66	2.05	2.10	2.34
白内障	109.6	1,288	1.62	1.92	1.97	2.12
その他の眼及び付属器の疾患	236.8	1,951	1.67	2.12	2.18	2.48
VIII 耳及び乳様突起の疾患	117.6	540	1.24	1.37	1.40	1.48
外耳疾患	23.2	80	1.16	1.30	1.34	1.45
中耳炎	50.5	221	1.21	1.33	1.34	1.41
その他の中耳及び乳様突起の疾患	10.9	54	1.20	1.27	1.29	1.36
内耳疾患	13.4	74	1.29	1.41	1.43	1.47
その他の耳疾患	19.7	113	1.32	1.51	1.56	1.66
IX 循環器系の疾患	1,268.3	11,147	1.25	1.32	1.32	1.35
高血圧性疾患	655.8	7,809	1.22	1.27	1.28	1.30
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	202.8	1,658	1.32	1.44	1.45	1.49
虚血性心疾患	94.6	863	1.34	1.46	1.47	1.51
その他の心疾患	108.2	795	1.31	1.41	1.42	1.47
(脳血管疾患) (再掲)	356.5	1,365	1.26	1.35	1.37	1.40
脳梗塞	256.7	1,052	1.26	1.34	1.35	1.38
その他の脳血管疾患	99.9	313	1.27	1.40	1.42	1.48
その他の循環器系の疾患	53.2	309	1.41	1.63	1.65	1.76

※：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-4-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2005 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	836.3	3,648	1.27	1.40	1.41	1.50
急性上気道感染症	287.5	885	1.20	1.33	1.34	1.45
肺炎	42.8	68	1.13	1.26	1.27	1.35
急性気管支炎及び急性細気管支炎	127.2	377	1.15	1.26	1.27	1.35
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	48.6	287	1.21	1.30	1.31	1.40
喘息	155.8	1,092	1.34	1.50	1.51	1.60
その他の呼吸器系の疾患	174.5	960	1.30	1.42	1.43	1.50
X I 消化器系の疾患	1,373.4	8,268	1.25	1.37	1.39	1.45
う蝕	315.3	1,814	1.15	1.20	1.21	1.25
歯肉炎及び歯周疾患	318.1	1,997	1.36	1.55	1.59	1.67
その他の歯及び歯の支持組織の障害	353.5	1,874	1.12	1.19	1.19	1.23
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	70.2	632	1.35	1.51	1.53	1.61
胃炎及び十二指腸炎	85.3	719	1.24	1.34	1.34	1.40
肝疾患	60.6	312	1.32	1.46	1.50	1.56
その他の消化器系の疾患	170.4	1,005	1.32	1.45	1.48	1.56
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	276.1	1,887	1.40	1.61	1.63	1.73
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,051.9	4,738	1.27	1.37	1.39	1.44
炎症性多発性関節障害	71.0	516	1.38	1.52	1.53	1.58
脊柱障害	553.1	2,153	1.21	1.29	1.30	1.35
骨の密度及び構造の障害	65.6	456	1.32	1.44	1.45	1.50
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	362.2	1,653	1.28	1.39	1.40	1.47
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	298.2	1,617	1.34	1.51	1.55	1.67
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	132.6	363	1.27	1.40	1.42	1.49
乳房及び女性生殖器の疾患	69.1	485	1.30	1.47	1.51	1.67
その他の腎尿路生殖器系の疾患	96.4	846	1.32	1.47	1.51	1.61
X V 妊娠、分娩及び産じょく	33.5	137	1.10	1.12	1.12	1.13
流産	2.5	12	1.13	1.23	1.23	1.25
妊娠高血圧症候群	0.7	2	1.21	1.21	1.21	1.21
単胎自然分娩	7.8	19	1.06	1.07	1.07	1.07
その他の妊娠、分娩及び産じょく	22.5	104	1.10	1.11	1.12	1.13
X VI 周産期に発生した病態	8.2	23	1.32	1.59	1.65	2.11
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	17.8	100	1.52	1.81	1.93	2.27
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	100.0	470	1.30	1.49	1.52	1.62
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	426.4	1,122	1.19	1.29	1.30	1.37
骨折	167.8	455	1.18	1.27	1.29	1.35
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	258.6	669	1.19	1.30	1.32	1.38
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	527.1	2,905	1.26	1.38	1.39	1.49
正常妊娠・産じょくの管理	37.2	390	1.11	1.14	1.14	1.16
歯の補てつ	267.5	1,565	1.14	1.17	1.17	1.20
その他の保健サービス	222.4	1,043	1.48	1.73	1.77	1.95

表 4-5-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2008 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [#]	8,257.3	50,770	1.37	1.54	1.57	1.67
I 感染症及び寄生虫症	219.2	1,202	1.40	1.59	1.62	1.72
腸管感染症	34.2	95	1.24	1.45	1.51	1.67
結核	7.1	27	1.41	1.61	1.68	1.81
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	44.5	254	1.23	1.35	1.35	1.43
真菌症	47.7	430	1.45	1.64	1.65	1.71
その他の感染症及び寄生虫症	85.7	421	1.43	1.64	1.69	1.81
II 新生物	377.3	1,949	1.38	1.67	1.78	1.98
(悪性新生物) (再掲)	297.8	1,518	1.38	1.68	1.79	1.97
胃の悪性新生物	38.5	213	1.38	1.62	1.71	1.86
結腸及び直腸の悪性新生物	43.1	235	1.37	1.61	1.69	1.81
気管、気管支及び肺の悪性新生物	35.0	131	1.35	1.59	1.69	1.86
その他の悪性新生物	181.2	939	1.39	1.72	1.84	2.05
良性新生物及びその他の新生物	79.5	431	1.36	1.66	1.76	2.02
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	28.4	200	1.44	1.65	1.70	1.83
貧血	19.9	139	1.41	1.57	1.60	1.68
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	8.5	62	1.50	1.82	1.91	2.13
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	397.2	4,401	1.42	1.59	1.62	1.69
甲状腺障害	28.3	309	1.51	1.92	2.03	2.23
糖尿病	214.2	2,371	1.42	1.58	1.61	1.66
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	154.7	1,719	1.39	1.54	1.56	1.63
V 精神及び行動の障害	533.8	2,815	1.23	1.31	1.32	1.36
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	253.9	795	1.16	1.21	1.21	1.23
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	108.8	1,041	1.22	1.29	1.30	1.33
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	54.5	589	1.34	1.45	1.47	1.52
その他の精神及び行動の障害	116.5	411	1.22	1.31	1.33	1.38
VI 神経系の疾患	238.4	1,354	1.40	1.59	1.63	1.72
VII 眼及び付属器の疾患	279.6	2,787	1.67	2.14	2.21	2.52
白内障	79.2	917	1.68	2.09	2.16	2.37
その他の眼及び付属器の疾患	200.3	1,872	1.66	2.16	2.24	2.59
VIII 耳及び乳様突起の疾患	125.0	636	1.29	1.42	1.44	1.52
外耳疾患	19.5	72	1.26	1.35	1.36	1.43
中耳炎	61.3	297	1.25	1.35	1.36	1.41
その他の中耳及び乳様突起の疾患	9.3	54	1.21	1.34	1.40	1.60
内耳疾患	14.2	89	1.37	1.52	1.54	1.60
その他の耳疾患	20.8	130	1.35	1.53	1.57	1.68
IX 循環器系の疾患	1,175.1	11,188	1.32	1.42	1.44	1.47
高血圧性疾患	610.1	7,967	1.28	1.36	1.36	1.38
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	188.5	1,542	1.47	1.67	1.70	1.76
虚血性心疾患	86.8	808	1.50	1.72	1.75	1.82
その他の心疾患	101.6	734	1.43	1.61	1.64	1.70
(脳血管疾患) (再掲)	319.3	1,339	1.35	1.49	1.51	1.56
脳梗塞	216.8	964	1.35	1.48	1.50	1.54
その他の脳血管疾患	102.5	374	1.36	1.51	1.55	1.62
その他の循環器系の疾患	57.2	332	1.49	1.72	1.76	1.88

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-5-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2008 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計 患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	733.1	3,258	1.31	1.45	1.47	1.56
急性上気道感染症	262.1	825	1.19	1.31	1.32	1.44
肺炎	46.1	77	1.14	1.29	1.29	1.37
急性気管支炎及び急性細気管支炎	102.4	322	1.12	1.21	1.22	1.29
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	41.2	224	1.41	1.57	1.59	1.66
喘息	118.6	888	1.40	1.58	1.59	1.69
その他の呼吸器系の疾患	162.8	960	1.34	1.48	1.50	1.57
X I 消化器系の疾患	1,318.1	8,373	1.29	1.43	1.45	1.54
う蝕	280.7	1,656	1.19	1.28	1.29	1.35
歯肉炎及び歯周疾患	366.8	2,592	1.30	1.48	1.50	1.62
その他の歯及び歯の支持組織の障害	319.7	1,795	1.15	1.21	1.22	1.28
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	57.3	520	1.45	1.65	1.67	1.74
胃炎及び十二指腸炎	66.8	583	1.34	1.48	1.49	1.60
肝疾患	46.0	247	1.42	1.59	1.64	1.77
その他の消化器系の疾患	180.8	1,090	1.41	1.60	1.63	1.71
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	265.0	1,726	1.49	1.74	1.76	1.91
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,013.8	5,039	1.31	1.44	1.47	1.53
炎症性多発性関節障害	65.1	500	1.45	1.61	1.64	1.72
脊柱障害	513.3	2,184	1.26	1.38	1.40	1.46
骨の密度及び構造の障害	61.7	502	1.35	1.50	1.53	1.56
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	373.7	1,896	1.29	1.43	1.45	1.52
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	336.0	1,574	1.44	1.68	1.75	1.91
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	170.2	414	1.33	1.46	1.49	1.56
乳房及び女性生殖器の疾患	79.4	528	1.33	1.54	1.59	1.81
その他の腎尿路生殖器系の疾患	86.4	768	1.42	1.67	1.75	1.86
X V 妊娠、分娩及び産じょく	36.6	150	1.12	1.16	1.16	1.19
流産	2.8	11	1.42	1.53	1.53	1.60
妊娠高血圧症候群	0.7	2	1.24	1.49	1.49	1.61
単胎自然分娩	7.5	13	1.08	1.15	1.17	1.17
その他の妊娠、分娩及び産じょく	25.6	124	1.10	1.13	1.13	1.15
X VI 周産期に発生した病態	8.8	28	1.25	1.50	1.59	1.84
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	18.7	115	1.49	1.82	1.92	2.14
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	105.3	557	1.39	1.61	1.65	1.81
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	444.9	1,212	1.21	1.32	1.33	1.39
骨折	179.7	510	1.20	1.31	1.32	1.37
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	265.2	704	1.21	1.32	1.34	1.41
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	603.1	3,559	1.24	1.36	1.37	1.46
正常妊娠・産じょくの管理	40.7	419	1.11	1.14	1.14	1.15
歯の補てつ	302.6	1,916	1.16	1.22	1.22	1.24
その他の保健サービス	259.8	1,317	1.39	1.59	1.64	1.82

表 4-6-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2011 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [#]	8,601.5	53,544	1.39	1.58	1.62	1.73
I 感染症及び寄生虫症	192.3	1,041	1.39	1.59	1.63	1.73
腸管感染症	34.6	93	1.23	1.43	1.43	1.61
結核	5.9	26	1.26	1.53	1.60	1.70
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	49.0	292	1.25	1.35	1.36	1.40
真菌症	37.7	322	1.47	1.69	1.70	1.79
その他の感染症及び寄生虫症	65.1	323	1.42	1.70	1.78	1.92
II 新生物	370.5	1,957	1.39	1.73	1.90	2.13
(悪性新生物) (再掲)	298.3	1,526	1.39	1.72	1.90	2.12
胃の悪性新生物	34.1	186	1.39	1.71	1.81	1.94
結腸及び直腸の悪性新生物	43.2	233	1.35	1.64	1.76	1.93
気管、気管支及び肺の悪性新生物	34.7	138	1.30	1.52	1.65	1.86
その他の悪性新生物	186.3	969	1.41	1.78	1.99	2.24
良性新生物及びその他の新生物	72.1	432	1.40	1.76	1.88	2.17
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	28.9	198	1.45	1.70	1.75	1.89
貧血	20.1	139	1.40	1.61	1.64	1.74
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	8.8	61	1.54	1.86	1.96	2.17
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	450.5	5,235	1.44	1.62	1.66	1.73
甲状腺障害	30.1	349	1.54	1.92	2.06	2.24
糖尿病	232.4	2,700	1.43	1.60	1.63	1.69
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	188.0	2,184	1.43	1.61	1.64	1.71
V 精神及び行動の障害	503.5	2,663	1.25	1.34	1.35	1.39
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	234.8	713	1.17	1.22	1.23	1.25
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	103.6	958	1.23	1.31	1.31	1.34
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	52.9	571	1.34	1.48	1.49	1.54
その他の精神及び行動の障害	112.2	440	1.26	1.38	1.40	1.47
VI 神経系の疾患	264.7	1,557	1.39	1.60	1.65	1.74
VII 眼及び付属器の疾患	306.0	2,982	1.77	2.25	2.35	2.68
白内障	91.5	962	1.80	2.20	2.29	2.54
その他の眼及び付属器の疾患	214.5	2,019	1.75	2.28	2.38	2.76
VIII 耳及び乳様突起の疾患	117.5	627	1.36	1.52	1.55	1.64
外耳疾患	18.9	65	1.47	1.64	1.66	1.74
中耳炎	49.8	237	1.27	1.40	1.42	1.50
その他の中耳及び乳様突起の疾患	9.7	53	1.33	1.48	1.54	1.67
内耳疾患	16.9	124	1.35	1.46	1.48	1.54
その他の耳疾患	22.2	155	1.40	1.64	1.67	1.80
IX 循環器系の疾患	1,199.6	12,230	1.34	1.46	1.48	1.52
高血圧性疾患	670.6	9,067	1.31	1.40	1.41	1.43
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	192.3	1,612	1.43	1.67	1.71	1.77
虚血性心疾患	77.4	756	1.44	1.69	1.73	1.79
その他の心疾患	114.8	856	1.42	1.64	1.68	1.76
(脳血管疾患) (再掲)	283.8	1,235	1.38	1.56	1.60	1.67
脳梗塞	187.6	924	1.38	1.56	1.59	1.65
その他の脳血管疾患	96.2	311	1.36	1.57	1.64	1.76
その他の循環器系の疾患	52.9	324	1.45	1.75	1.82	1.96

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-6-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2011 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	797.7	3,576	1.32	1.49	1.51	1.61
急性上気道感染症	272.5	842	1.21	1.35	1.35	1.51
肺炎	50.3	79	1.14	1.22	1.22	1.30
急性気管支炎及び急性細気管支炎	119.4	366	1.18	1.32	1.34	1.44
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	41.5	266	1.32	1.47	1.49	1.53
喘息	134.0	1,045	1.41	1.61	1.63	1.75
その他の呼吸器系の疾患	180.0	1,015	1.35	1.50	1.52	1.59
X I 消化器系の疾患	1,364.6	8,613	1.32	1.46	1.47	1.58
う蝕	314.4	1,945	1.23	1.29	1.29	1.37
歯肉炎及び歯周疾患	400.6	2,657	1.41	1.57	1.58	1.76
その他の歯及び歯の支持組織の障害	315.9	1,780	1.15	1.23	1.24	1.29
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	44.0	406	1.41	1.63	1.66	1.73
胃炎及び十二指腸炎	61.6	571	1.34	1.47	1.48	1.55
肝疾患	50.4	276	1.38	1.58	1.63	1.72
その他の消化器系の疾患	177.7	1,095	1.43	1.63	1.67	1.77
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	269.8	1,833	1.49	1.74	1.76	1.87
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,064.9	5,245	1.32	1.47	1.50	1.57
炎症性多発性関節障害	62.5	493	1.54	1.73	1.76	1.85
脊柱障害	528.7	2,299	1.26	1.38	1.41	1.46
骨の密度及び構造の障害	56.1	445	1.42	1.64	1.68	1.81
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	417.6	2,064	1.28	1.43	1.46	1.54
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	313.6	1,515	1.44	1.72	1.82	2.01
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	160.5	418	1.25	1.39	1.42	1.49
乳房及び女性生殖器の疾患	71.7	516	1.39	1.66	1.72	1.97
その他の腎尿路生殖器系の疾患	81.3	736	1.41	1.68	1.80	1.94
X V 妊娠、分娩及び産じょく	31.5	122	1.11	1.15	1.15	1.21
流産	2.3	12	1.15	1.26	1.26	1.35
妊娠高血圧症候群	0.6	2	1.11	1.11	1.11	1.11
単胎自然分娩	6.9	18	1.18	1.25	1.26	1.36
その他の妊娠、分娩及び産じょく	21.8	91	1.09	1.11	1.12	1.17
X VI 周産期に発生した病態	9.2	31	1.28	1.47	1.54	1.69
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	17.3	105	1.55	1.94	2.06	2.35
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	102.3	513	1.41	1.64	1.69	1.87
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	442.4	1,284	1.20	1.32	1.35	1.41
骨折	182.3	542	1.19	1.32	1.36	1.42
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	260.1	743	1.21	1.32	1.34	1.41
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	754.8	4,022	1.27	1.42	1.44	1.60
正常妊娠・産じょくの管理	40.1	404	1.08	1.11	1.11	1.13
歯の補てつ	313.0	2,024	1.16	1.23	1.23	1.27
その他の保健サービス	401.7	1,736	1.45	1.71	1.76	2.08

表 4-7-1. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2014 年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) ：平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
全傷病 [※]	8,557.2	59,152	1.40	1.61	1.65	1.77
I 感染症及び寄生虫症	194.0	1,168	1.41	1.62	1.65	1.76
腸管感染症	34.2	91	1.22	1.38	1.39	1.57
結核	5.1	20	1.39	1.69	1.74	1.87
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	59.5	412	1.27	1.38	1.39	1.43
真菌症	35.5	337	1.50	1.70	1.72	1.80
その他の感染症及び寄生虫症	59.7	327	1.50	1.81	1.88	2.07
II 新生物	376.5	2,100	1.41	1.79	1.98	2.22
(悪性新生物) (再掲)	300.8	1,626	1.42	1.81	2.01	2.25
胃の悪性新生物	32.7	185	1.44	1.77	1.90	2.08
結腸及び直腸の悪性新生物	46.9	261	1.42	1.77	1.94	2.11
気管、気管支及び肺の悪性新生物	34.9	146	1.33	1.59	1.76	1.95
その他の悪性新生物	186.3	1,034	1.42	1.86	2.09	2.35
良性新生物及びその他の新生物	75.7	474	1.38	1.74	1.87	2.14
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	27.9	209	1.48	1.75	1.81	1.96
貧血	18.5	142	1.44	1.66	1.69	1.79
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	9.4	68	1.55	1.91	2.03	2.28
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	469.9	6,069	1.44	1.63	1.67	1.76
甲状腺障害	39.9	442	1.56	2.02	2.18	2.47
糖尿病	243.3	3,166	1.43	1.61	1.64	1.71
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	186.7	2,449	1.42	1.61	1.64	1.71
V 精神及び行動の障害	523.2	3,175	1.25	1.34	1.35	1.41
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	235.4	773	1.19	1.24	1.25	1.27
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	112.2	1,116	1.23	1.30	1.31	1.36
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	59.0	724	1.28	1.40	1.41	1.47
その他の精神及び行動の障害	116.6	598	1.29	1.41	1.43	1.50
VI 神経系の疾患	295.1	2,014	1.40	1.63	1.69	1.78
VII 眼及び付属器の疾患	349.4	3,660	1.68	2.18	2.27	2.63
白内障	85.1	856	1.75	2.26	2.34	2.65
その他の眼及び付属器の疾患	264.3	2,811	1.65	2.16	2.24	2.63
VIII 耳及び乳様突起の疾患	103.0	583	1.36	1.52	1.56	1.67
外耳疾患	20.8	79	1.46	1.66	1.68	1.81
中耳炎	40.7	219	1.26	1.35	1.37	1.45
その他の中耳及び乳様突起の疾患	6.4	37	1.40	1.54	1.61	1.83
内耳疾患	14.3	107	1.38	1.57	1.61	1.78
その他の耳疾患	20.9	149	1.39	1.60	1.64	1.73
IX 循環器系の疾患	1,173.1	13,344	1.34	1.47	1.49	1.54
高血圧性疾患	677.8	10,108	1.31	1.41	1.42	1.45
(心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲))	193.9	1,729	1.45	1.69	1.73	1.81
虚血性心疾患	75.0	779	1.48	1.76	1.81	1.89
その他の心疾患	118.9	951	1.42	1.64	1.67	1.74
(脳血管疾患) (再掲)	253.4	1,179	1.37	1.60	1.66	1.74
脳梗塞	166.8	860	1.36	1.58	1.63	1.70
その他の脳血管疾患	86.5	318	1.38	1.67	1.75	1.85
その他の循環器系の疾患	48.1	319	1.54	1.86	1.93	2.08

※：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-7-2. 平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値：2014 年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	推計患者数 (千人)	総患者数 (千人) : 平均診療間隔 の算定対象が 30日以下	平均診療間隔の算定対象別、総患者数の計算値の比 (平均診療間隔の算定対象が30日以下による総患者数を1.0)			
			60日 以下	90日 以下	91日 以下	120日 以下
X 呼吸器系の疾患	759.1	3,850	1.37	1.53	1.55	1.66
急性上気道感染症	249.6	868	1.25	1.39	1.39	1.51
肺炎	42.8	69	1.15	1.25	1.26	1.33
急性気管支炎及び急性細気管支炎	103.6	340	1.18	1.26	1.27	1.40
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	39.9	299	1.35	1.55	1.58	1.64
喘息	131.4	1,177	1.44	1.62	1.64	1.76
その他の呼吸器系の疾患	191.9	1,146	1.40	1.56	1.59	1.69
X I 消化器系の疾患	1,375.8	9,500	1.31	1.46	1.50	1.61
う蝕	283.6	1,846	1.18	1.25	1.25	1.33
歯肉炎及び歯周疾患	444.9	3,315	1.34	1.52	1.58	1.72
その他の歯及び歯の支持組織の障害	299.4	1,842	1.17	1.23	1.24	1.26
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	34.5	318	1.43	1.70	1.73	1.84
胃炎及び十二指腸炎	74.2	735	1.40	1.58	1.60	1.74
肝疾患	40.6	251	1.48	1.74	1.82	1.93
その他の消化器系の疾患	198.5	1,371	1.45	1.66	1.70	1.84
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	297.8	2,248	1.54	1.81	1.84	2.00
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	947.7	5,279	1.35	1.52	1.56	1.64
炎症性多発性関節障害	54.4	492	1.55	1.81	1.86	1.94
脊柱障害	481.0	2,360	1.28	1.44	1.47	1.55
骨の密度及び構造の障害	58.0	552	1.39	1.58	1.64	1.72
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	354.3	1,947	1.32	1.46	1.49	1.57
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	330.0	1,743	1.48	1.87	1.98	2.19
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患 及び腎不全	152.0	374	1.37	1.60	1.66	1.77
乳房及び女性生殖器の疾患	81.8	617	1.38	1.73	1.78	1.97
その他の腎尿路生殖器系の疾患	96.2	969	1.42	1.75	1.87	2.06
X V 妊娠、分娩及び産じょく	33.0	138	1.08	1.11	1.11	1.17
流産	2.3	11	1.16	1.23	1.24	1.30
妊娠高血圧症候群	0.7	2	1.15	1.24	1.24	1.24
単胎自然分娩	6.5	13	1.09	1.12	1.12	1.16
その他の妊娠、分娩及び産じょく	23.5	111	1.06	1.09	1.09	1.15
X VI 周産期に発生した病態	9.6	30	1.33	1.69	1.75	1.93
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	20.0	131	1.53	1.92	2.06	2.37
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	92.9	500	1.44	1.66	1.73	1.88
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	437.8	1,325	1.24	1.38	1.41	1.48
骨折	183.4	580	1.23	1.36	1.39	1.46
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	254.4	748	1.25	1.39	1.42	1.49
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	741.4	4,278	1.22	1.36	1.38	1.51
正常妊娠・産じょくの管理	39.6	422	1.10	1.12	1.12	1.16
歯の補てつ	305.7	2,128	1.12	1.17	1.17	1.21
その他の保健サービス	396.0	1,857	1.37	1.65	1.70	1.92

表 5. 患者調査に対する総患者数の推計方法に関する提言

提言

- (1) 傷病状況の指標としての重要性から、患者調査では引き続き、総患者数を推計する。
- (2) 総患者数の推計では、平均診療間隔の算定対象を 30 日以下から 13 週以下（91 日以下）の診療間隔に変更する。
- (3) 今後の患者調査では、できるだけ早く、総患者数の推計を(2)の新しい方法に変更する。
- (4) 傷病状況の推移観察の検討を可能とするため、平成 8 年以降の総患者数を新しい方法で傷病別に推計する。

提言の理由

- (1) 外来では、最近、診療間隔の延長に伴い、1 日に医療施設を受療している患者数と、継続的に医療を受けている患者数（その日には医療施設を受療していない者を含む）との乖離が大きくなっている。傷病状況の指標として、継続的に医療を受けている患者数、すなわち、患者調査での総患者数の推計の重要性が一層高まっている。
- (2) 総患者数の推計では、前回診療日から長い期間を経過した再来患者を継続的に医療を受けているとみなさないという考え方に基づいて、再来患者の平均診療間隔の算定対象に、上限の診療間隔を設けている。現行の算定対象は 30 日以下の診療間隔である。これは、平成 2 年頃の診療状況や薬剤処方日数の制限（原則 14 日以下）に基づくものであった。最近の診療間隔の延長状況、平成 14 年度の薬剤処方日数制限の撤廃などから総合的にみて、平均診療間隔の算定対象は 13 週以下（91 日以下）の診療間隔が適切と判断される。
- (3) 新しい方法については、すべての課題が解決されたわけではないが、総患者数の推計には現行の方法よりも優れており、また、患者調査への適用性が確認されている。
- (4) 平成 8 年以降の傷病別総患者数を新しい方法で推計することによって、ICD-10 に基づく傷病状況のより正確な推移観察の検討が可能となる。

表 6-1. 処方せん1枚当たり投与日数：「調剤医療費の動向調査」

	処方せん1枚当たり投与日数（日）									
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
内服薬 総数	16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	19.9	20.5	21.1	21.8	22.3
11 中枢神経系用薬	15.6	16.0	16.4	18.0	18.9	19.1	19.6	20.3	20.8	21.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	16.0	16.2	16.4	19.4	20.4	20.9	21.5	22.1	22.5	23.0
114 解熱鎮痛消炎剤	11.3	11.6	12.1	12.7	13.3	13.5	13.8	14.3	14.8	15.3
116 抗パーキンソン剤	21.2	21.7	21.8	23.2	23.8	24.4	24.9	25.4	25.7	26.5
117 精神神経用剤	18.7	19.1	19.5	20.8	21.4	21.7	22.3	22.9	23.3	23.8
119 その他中枢神経系用薬	21.0	21.6	22.1	23.0	23.4	22.2	21.0	23.0	23.8	24.5
21 循環器官用薬	24.1	24.9	25.6	26.5	27.3	27.9	28.6	29.4	30.1	30.8
212 不整脈用剤	24.9	25.7	26.4	27.3	28.1	28.6	29.1	30.1	30.8	31.5
214 血圧降下剤	24.7	25.6	26.3	27.3	28.0	28.6	29.4	30.3	31.1	31.7
217 血管拡張剤	24.3	25.1	25.8	26.7	27.5	28.1	28.7	29.5	30.2	30.9
218 高脂血症用剤	25.2	26.1	26.8	27.9	28.8	29.4	30.3	31.2	31.9	32.6
22 呼吸器官用薬	7.4	7.4	7.6	7.7	7.9	7.8	7.9	8.0	8.2	8.3
23 消化器官用薬	17.2	17.5	18.1	19.0	19.8	20.0	20.7	21.1	21.9	22.5
232 消化性潰瘍用剤	18.5	19.1	19.6	20.5	21.2	21.7	22.3	22.9	23.6	24.2
239 その他の消化器官用薬	15.6	15.8	16.4	17.7	18.5	18.6	19.5	19.2	20.3	21.0
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	24.8	24.8	25.9	27.1	28.0	28.7	29.4	30.1	31.1	31.7
31 ビタミン剤	20.2	20.9	21.5	22.3	23.0	23.6	24.0	24.9	25.7	26.4
32 滋養強壮薬	20.8	21.3	21.8	22.5	23.1	23.5	23.9	24.4	24.8	25.4
325 蛋白アミノ酸製剤	17.7	18.0	18.4	18.9	19.3	19.5	19.9	20.0	20.2	20.5
33 血液・体液用薬	22.0	22.7	23.3	24.2	24.9	25.1	25.2	25.8	26.4	26.7
39 その他の代謝性医薬品	19.8	20.6	20.8	21.2	21.7	21.9	23.8	24.8	25.7	26.3
396 糖尿病用剤	25.8	26.6	27.4	28.4	29.0	28.3	30.1	31.1	31.8	31.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	20.1	20.1	17.6	15.5	14.7	14.7	14.7	14.6	14.7	14.9
42 腫瘍用薬	28.7	29.9	31.3	32.5	33.5	34.4	36.4	37.5	38.5	38.8
422 代謝拮抗剤	21.7	21.5	21.0	20.5	20.1	19.4	20.0	20.1	20.0	19.9
429 その他の腫瘍用薬	35.9	37.8	40.3	42.2	43.4	44.5	45.9	47.0	47.9	47.6
44 アレルギー用薬	11.6	11.9	12.3	13.0	13.7	14.0	14.4	15.1	15.6	16.2
52 漢方製剤	16.1	16.5	16.9	17.7	18.4	18.8	19.1	19.7	20.2	20.5
61 抗生物質製剤	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	6.1	6.2	6.3
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.2	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	6.7	6.7	6.9	7.1	7.1	7.1	7.2	7.5	7.8	8.0
62 化学療法剤	8.6	8.8	9.1	9.5	9.3	9.5	9.4	9.5	9.9	10.1
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3
625 抗ウイルス剤	5.7	6.5	7.6	7.8	7.4	9.0	9.1	10.1	10.6	11.0

表 6-2. 医師の最も多い処方期間の分布

薬剤処方期間 (週)	慢性疾患等の患者に対する 医師の最も多い処方期間の割合 (%)	
	大学病院医師 (562人)	大学以外の 病院医師 (1,762人)
1	1.1	0.2
2	0.9	1.1
3	0.2	0.3
4	24.7	23.3
5	1.2	3.0
6	1.4	2.0
7	0.5	0.1
8	21.4	22.7
9	8.2	7.4
10	0.2	1.6
11	0.0	0.3
12	18.3	15.8
13	17.4	17.4
14～	4.4	4.8

資料：「日本医師会総合政策研究機構．長期処方についてのアンケート調査報告－6 道県におけるパイロットスタディー．日医総研ワーキングペーパー，2010」